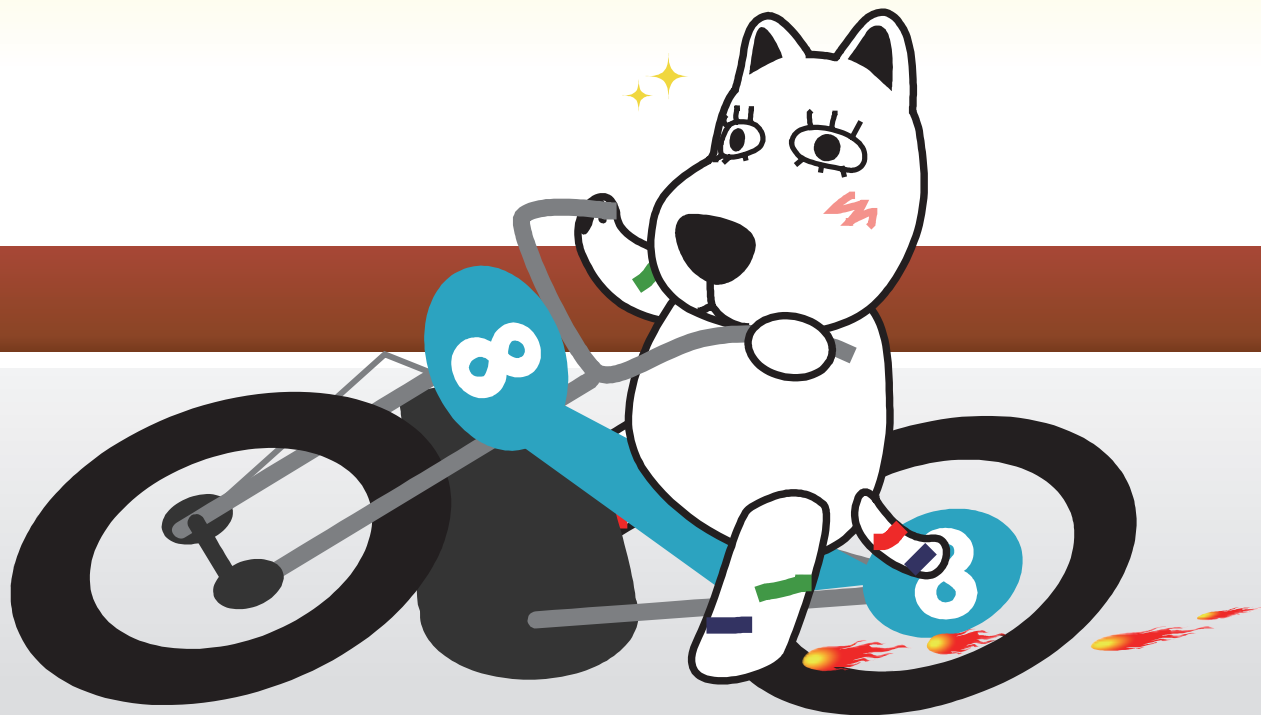


Contents

- 株主の皆様へ／01
- 営業の概況／01・02
- 事業の種類別セグメントの概況／03・04・05・06
- 財務諸表〔連結〕／07・08・09
- 財務諸表〔個別〕／10・11・12
- 業績ハイライト／13・14
- 株主優待／15
- 株式の状況／16
- 会社の概況／17
- 株主メモ／18



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループ第84期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の事業の概況を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

平成20年6月



代表取締役社長 関根達雄

01

営業の概況

事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景とした設備投資の増加や雇用情勢の改善により、景気は緩やかに回復基調で推移しておりました。ところが、年度後半に入り、原油・原材料価格の高騰や米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱などの影響により、景気の先行きに不透明感が強まってまいりました。

当社グループの関連する業界におきましては、景気の減速懸念から個人消費に抑制傾向が見られることに加え、顧客ニーズの多様化がますます進行し、レジャー業界は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当連結会計年度における業績は、夏のプールWAIが猛暑に支えられ好調に推移したほか、ゴルフガーデン（練習場）及び静岡、千葉よみうりカントリークラブにおける積極的な営業活動が奏功したなどの増収要因はありましたものの、販売用宅地の分譲が減少したこと及びコンビニエンスストアの閉鎖（1店舗）が影響し、売上高は139億9千3百万円（前期比3.7%減）、営業利益は19億6千3百万円（同3.8%減）、経常利益は20億6千2百万円（同3.2%減）、当期純利益は11億4千8百万円（同8.0%減）となりました。

対処すべき課題

今後のわが国経済は、原油・原材料価格の高騰、円高の進行、米国経済の減速など先行きリスクが高まっており、予断を許さない状況で推移していくものと思われます。

当社グループの関連する業界におきましても、原材料価格高騰による家計への負担増などから個人消費が低迷し、レジャー支出が抑制される懸念があります。激しい企業間競争の中を生き残るためには、他施設との差別化を図っていくための独自性やプラスアルファを生み出していく必要があると思われます。

このような状況の下、当社グループは平成21年に迎える創立60周年をさらなる発展の礎とすべく、再スタートを切っております。その実現に向けて、「筋肉質の経営体質をつくる」「働き甲斐のある職場を確立する」「社内外の情報の流れを迅速かつ透明度の高いものにする」「地域、社会に貢献する社風を構築する」を重点課題とし一層の企業価値向上を図ることに努力してまいります。

賃貸部門では、施設整備によるファンサービスの提供に力を入れ、本場開催時の新規顧客の獲得に努めるとともに、引き続き多面的な検討を進めてまいります。

ゴルフ部門では、東京の2つのコースにおいて質の高いコースコンディションの維持とサービス提供を、千葉、静岡のコースでは、それぞれの特色を生かした企画、料金プランにより集客を図ってまいります。

遊園地部門では、安全衛生管理を継続して強化するとともに、各施設の連携を密にした効果的な企画展開を目指します。

また、シニア施設や、クリニックモールへの土地の賃貸は安定した収益を生み出しておりますが、引き続き所有地の有効活用は大きな課題と考えております。平成21年8月完成を目指し進められている京王よみうりランド駅南斜面地に新設される予定の通路が、遊園地とその周辺の発展に寄与するよう検討を進めてまいります。

今後とも当社グループは、国内でも特色のある総合レジャー・サービス事業会社として、永年に亘り培われたノウハウとブランドイメージに裏打ちされた様々な経営資源に基づき、持続的な企業価値の向上を目指し成長、進化していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業の種類別セグメントの概況 (セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます)

総合レジャー事業

賃貸部門 川崎競馬は、前期比1日減の64日開催されました。昨年から2年連続となる正月開催が行われるなど盛り上がりましたが、ダート競馬の祭典「JBC競走」が川崎競馬場で実施された昨年度と比較すると、本場の投票券売上高は減少いたしました。一方、インターネット等を利用した在宅投票は好調に推移し、投票券総売上高は微増となりました。また、他場開催（船橋・大井・浦和）の場外発売は、前期比3日減の209日実施されました。なお、年度末に1号館スタンド1階にファン休憩所、キッズルームを新設するなど本場の魅力向上に努めました。

船橋競馬は、前期比1日増の55日開催されました。入場者数の減少に伴い、本場の投票券売上高は減少いたしましたものの、インターネット等を利用した在宅投票が好調を持続したことから、投票券総売上高は増加いたしました。また、他場開催（川崎・大井・浦和）の場外発売は、前期比1日減の213日実施されました。なお、ファンサービス向上の一環として、特別観覧席を全面リニューアルし、平成20年4月より稼働を開始しております。

船橋オートレースは、前期比4日減の68日開催されました。使用していない投票所等を解体撤去し、駐車場を拡張するなど施設整備を実施しましたが、本場の入場者減に歯止めがかからず、投票券総売上高は減少いたしました。また、他場開催の場外発売は、前期比17日増の244日実施されました。

以上の結果、賃貸部門の売上高は、34億7百万円（前期比2.3%増）となりました。



▲船橋競馬場 特別観覧席リニューアル

ゴルフ部門 東京よみうりカントリークラブは、引き続きチャンピオンコースとしてのコース維持や施設の改修を行いました。土日祝日につきましては、会員利用が競技会参加や会員同士のプレーを中心に増加いたしました。平日につきましては、通常のコンペが縮小傾向にあることから、特色ある自主コンペの開催や競技志向型コンペの積極的受入を実施いたしました結果、ゲスト利用は前期を上回りました。しかしながら、降積雪によるクローズなどで営業日数が前期比6日減だったことが影響し、入場者は減少いたしました。

よみうりゴルフ倶楽部は、引き続き乗用カートの利点を生かした女性やシニア向けの企画などを実施することにより集客に努めました。また、平日は従来からの施策である団体貸切並びに自主コンペ企画が好調でありましたことにより前期並で推移いたしました。しかしながら、降積雪によるクローズなどで営業日数が前期比8日減だったことが影響し、入場者は減少いたしました。

静岡よみうりカントリークラブは、各種媒体を使った宣伝広告やイベントの実施及びポイントカードが好評を博しました。特にゴルフ愛好会会員の利用頻度が高く、安定したリピーター確保に繋がりました。さらに、良質なコース維持、接客に重点を置いた運営を実施し、その結果、開場以来最高となる入場者を記録いたしました。

千葉よみうりカントリークラブは、東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権決勝競技の誘致など、引き続きパブリックコースとしての特性を生かした種々の営業施策を積極的に実施した結果、降積雪などによるクローズが10日間あったにもかかわらず、入場者は増加いたしました。

以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、33億8千2百万円（前期比0.3%減）となりました。



▲サロンパswワールドレディスゴルフトーナメント2007（東京よみうりカントリークラブ・5月3～6日）

遊園地部門

遊園地は、引き続き遊戯機の安全管理の徹底に努めるとともに、定着してきた「中高生こども料金」を中心とした料金政策や定番の人気キャラクターショーの充実などが安定した集客に寄与いたしました。また、夏季に映画とのタイアップ企画「怪談屋敷」や冬季にはファイアーバンデットなど季節毎に様々なイベントを展開したほか、5月には自主興行イベント「よみうりランド薪能」を2日間実施し、いずれも好評を博しました。しかしながら、梅雨明けの遅れ、猛暑、積雪など天候不順に悩まされ、入園者は減少いたしました。

夏のプールWAIは、床面改修などの施設整備はもとより、シンクロナイズドスイミングを取り入れたアクアショーやプールサイドでのヒーリングコンサートなど多数のイベントを実施し、リピーターの確保に努めました。さらに、営業期間を延長したことが功を奏し、猛暑にも支えられ、入場者は増加いたしました。

ゴルフガーデン（練習場）は、各種イベントの継続や女子プロスクールの導入などが、顧客の定着化と新規顧客の獲得に効果を発揮いたしました。その結果、業界の話題性も追い風となり、入場者は増加いたしました。

温浴施設「よみうりランド丘の湯」は、夕涼みテラスに開閉式テント・売店を設置するなど顧客サービスを実施いたしました。また、回数券の販売やフィッシュセラピーなどのイベントが好調に推移しましたが、近隣競合施設オープンの影響もあり、入場者は減少いたしました。

以上の結果、遊園地部門の売上高は、20億9千8百万円（前期比5.3%減）となりました。



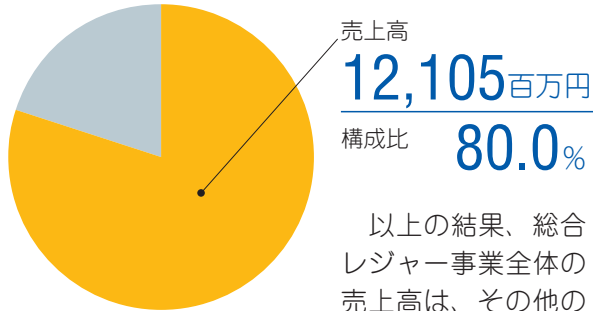
▲薪能（聖地公園・5月12・13日）

販売部門

食堂・売店の売上高は、夏のプールWAIの入場者増による増収がありましたものの、コンビニエンスストアを1店舗閉鎖したことにより、26億2百万円（前期比9.3%減）となりました。

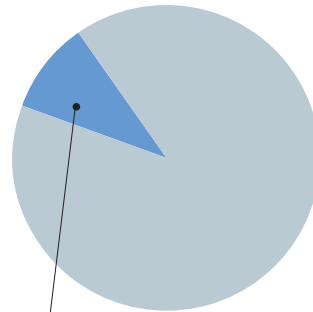
Overview by Business Segment

総合レジャー事業



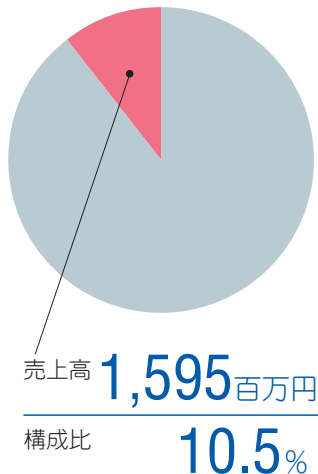
以上の結果、総合レジャー事業全体の売上高は、その他の収入も含め、121億5千万円（前期比2.6%減）、営業利益は24億2千2百万円（同2.2%減）となりました。

不動産事業



ジャイアンツ球場やシニア施設等の賃貸収入は堅調でありましたものの、販売用宅地の分譲が大幅に減少したため、不動産事業全体の売上高は、14億4千1百万円（前期比14.8%減）、営業利益は8億4千7百万円（同12.7%減）となりました。

建設事業



前期ほどの大規模な工事の受注が得られず、小規模工事の受注が中心となったため、建設事業全体の売上高は、15億9千5百万円（前期比12.3%減）、営業利益は5千7百万円（同12.8%減）となりました。



財務諸表〔連結〕

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 平成20年3月31日現在	前連結会計年度末 平成19年3月31日現在	比較増減	科 目	当連結会計年度末 平成20年3月31日現在	前連結会計年度末 平成19年3月31日現在	比較増減
(資産の部)				(負債の部)			
流 動 資 産	8,132	7,721	411	流 動 負 債	6,463	6,362	100
現金及び預金	6,575	5,875	700	営業未払金	355	484	△ 128
受取手形及び営業未収金	988	1,240	△ 251	短期借入金	3,100	3,100	—
たな卸資産	358	379	△ 20	1年以内返済の長期借入金	1,095	1,095	—
繰延税金資産	125	155	△ 29	未払法人税等	404	345	58
その他	84	71	12	賞与引当金	113	121	△ 7
貸倒引当金	△ 0	△ 0	0	その他	1,393	1,216	177
固 定 資 産	47,116	52,442	△ 5,325	固 定 負 債	31,623	34,743	△ 3,120
有形固定資産	37,440	38,152	△ 712	長期借入金	2,041	3,136	△ 1,095
建物及び構築物	18,281	19,329	△ 1,047	繰延税金負債	1,541	3,248	△ 1,707
機械装置及び運搬具	580	691	△ 111	退職給付引当金	551	572	△ 20
工具、器具及び備品	324	374	△ 49	役員退職慰労引当金	128	124	3
土地	17,393	17,297	95	長期預り金	24,460	24,630	△ 169
建設仮勘定	860	460	400	匿名組合預り金	2,900	3,030	△ 130
無形固定資産	76	82	△ 5	その他	0	0	△ 0
その他の無形固定資産	76	82	△ 5	負 債 合 計	38,086	41,106	△ 3,019
投資その他の資産	9,599	14,207	△ 4,608	(純資産の部)			
投資有価証券	8,745	13,263	△ 4,517	株 主 資 本	15,378	14,714	663
繰延税金資産	550	554	△ 4	資本金	6,053	6,053	—
その他	303	390	△ 86	資本剰余金	4,731	4,731	0
資 産 合 計	55,249	60,163	△ 4,914	利益剰余金	5,632	4,889	742
				自己株式	△ 1,038	△ 959	△ 79
				評価・換算差額等	1,777	4,336	△ 2,559
				その他有価証券評価差額金	1,777	4,336	△ 2,559
				少数株主持分	7	7	0
				純 資 産 合 計	17,162	19,057	△ 1,895
				負債及び純資産合計	55,249	60,163	△ 4,914

Consolidated Financial Statements

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	比較増減
売 上 高	13,993	14,535	△ 541
売 上 原 価	10,500	10,914	△ 414
売 上 総 利 益	3,493	3,620	△ 127
販売費及び一般管理費	1,529	1,579	△ 49
営 業 利 益	1,963	2,041	△ 77
営 業 外 収 益	201	201	△ 0
受 取 利 息	13	7	6
受 取 配 当 金	109	119	△ 9
事 業 保 険 差 益	34	21	12
そ の 他	43	53	△ 9
営 業 外 費 用	102	113	△ 10
支 払 利 息	102	109	△ 6
そ の 他	0	3	△ 3
経 常 利 益	2,062	2,129	△ 67
特 別 利 益	5	798	△ 792
投資有価証券売却益	0	702	△ 701
固定資産売却益	4	9	△ 4
貸倒引当金戻入額	0	—	0
保 険 金 収 入	—	66	△ 66
工 事 負 担 金	—	20	△ 20
特 別 損 失	113	846	△ 733
固定資産除却損	90	794	△ 704
投資有価証券売却損	12	3	8
投資有価証券評価損	—	0	△ 0
災 害 損 失	10	0	9
減 損 損 失	—	30	△ 30
解 約 違 約 金	—	17	△ 17
匿名組合損益分配前 税金等調整前当期純利益	1,954	2,081	△ 126
匿名組合損益分配額	64	31	33
税金等調整前当期純利益	1,889	2,049	△ 160
法人税、住民税及び事業税	657	729	△ 72
法人税等調整額	83	70	12
少数株主利益	0	0	0
当 期 純 利 益	1,148	1,248	△ 99

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	6,053	4,731	4,889	△ 959	14,714	4,336	4,336	7	19,057
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 405		△ 405				△ 405
当期純利益			1,148		1,148				1,148
自己株式の取得				△ 82	△ 82				△ 82
自己株式の処分		0		3	3				3
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						△ 2,559	△ 2,559	0	△ 2,559
連結会計年度中の変動額合計	—	0	742	△ 79	663	△ 2,559	△ 2,559	0	△ 1,895
平成20年3月31日残高	6,053	4,731	5,632	△ 1,038	15,378	1,777	1,777	7	17,162

09

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,660	2,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△391	71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,579	△2,362
現金及び現金同等物の増減額	689	338
現金及び現金同等物の期首残高	5,795	5,457
現金及び現金同等物の期末残高	6,485	5,795

財務諸表〔個別〕

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当事業年度末 平成20年3月31日現在	前事業年度末 平成19年3月31日現在	比較増減	科 目	当事業年度末 平成20年3月31日現在	前事業年度末 平成19年3月31日現在	比較増減
(資産の部)				(負債の部)			
流 動 資 産	7,232	6,883	348	流 動 負 債	6,311	6,216	94
現金及び預金	5,389	4,737	652	営業未払金	137	144	△ 6
営業未収金	889	1,134	△ 244	短期借入金	3,100	3,100	—
商 売 用 品	10	11	△ 0	1年以内返済の長期借入金	1,095	1,095	—
販 売 用 土 地	740	794	△ 54	未 払 金	776	359	416
貯 蔵 品	5	4	0	未 払 費 用	524	872	△ 348
前 払 費 用	15	33	△ 17	未 払 法 人 税 等	397	313	83
繰 延 税 金 資 産	100	127	△ 27	預 り 金	143	172	△ 29
短 期 貸 付 金	—	1	△ 1	賞 与 引 当 金	87	94	△ 6
未 収 入 金	27	6	20	そ の 他	49	64	△ 14
そ の 他	52	30	22	固 定 負 債	28,497	31,402	△ 2,905
貸 倒 引 当 金	△ 0	△ 0	0	長 期 借 入 金	2,041	3,136	△ 1,095
固 定 資 産	46,915	52,050	△ 5,135	繰 延 税 金 負 債	1,540	3,245	△ 1,705
有 形 固 定 資 産	36,970	37,465	△ 495	退 職 給 付 引 当 金	467	470	△ 2
建 物	7,601	8,019	△ 417	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	125	124	0
構 築 物	7,698	8,126	△ 427	長 期 預 り 金	24,323	24,425	△ 102
機 械 及 び 装 置	489	594	△ 105	負 債 合 計	34,808	37,619	△ 2,810
車 両 及 び 運 搬 具	45	49	△ 4	(純資産の部)			
工 具、器 具 及 び 備 品	260	297	△ 36	株 主 資 本	17,562	16,982	580
土 地	20,013	19,917	95	資 本 金	6,053	6,053	—
建 設 仮 勘 定	860	460	400	資 本 剰 余 金	4,731	4,731	0
無 形 固 定 資 産	73	78	△ 5	資 本 準 備 金	4,730	4,730	—
施 設 利 用 権	61	62	△ 0	そ の 他 資 本 剰 余 金	1	1	0
そ の 他	11	16	△ 4	利 益 剰 余 金	7,817	7,157	659
投 資 其 の 他 の 資 産	9,871	14,506	△ 4,635	利 益 準 備 金	1,513	1,513	—
投 資 有 価 証 券	8,738	13,252	△ 4,513	そ の 他 利 益 剰 余 金	6,303	5,644	659
関 係 会 社 株 式	126	126	—	固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	1,030	1,030	—
そ の 他 の 関 係 会 社 有 価 証 券	725	757	△ 32	別 途 積 立 金	2,670	2,170	500
長 期 前 払 費 用	—	6	△ 6	繰 越 利 益 剰 余 金	2,602	2,443	159
退 職 給 付 特 定 引 当 資 産	—	193	△ 193	自 己 株 式	△ 1,038	△ 959	△ 79
そ の 他	281	170	111	評 価・換 算 差 額 等	1,775	4,332	△ 2,556
資 産 合 計	54,147	58,934	△ 4,786	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,775	4,332	△ 2,556
				純 資 産 合 計	19,338	21,314	△ 1,976
				負 債 及 び 純 資 産 合 計	54,147	58,934	△ 4,786

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	前事業年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	比較増減
売 上 高	12,844	13,426	△ 581
売 上 原 価	9,693	10,147	△ 453
売 上 総 利 益	3,151	3,278	△ 127
一 般 管 理 費	1,378	1,485	△ 107
営 業 利 益	1,772	1,793	△ 20
営 業 外 収 益	217	205	12
受 取 利 息	11	6	4
受 取 配 当 金	112	119	△ 6
事 業 保 険 差 益	34	21	12
そ の 他	58	57	1
営 業 外 費 用	102	109	△ 6
支 払 利 息	102	109	△ 6
そ の 他	0	0	0
経 常 利 益	1,887	1,888	△ 1
特 別 利 益	5	794	△ 789
投資有価証券売却益	0	700	△ 699
固定資産売却益	4	7	△ 3
貸倒引当金戻入額	0	—	0
保 険 金 収 入	—	66	△ 66
工 事 負 担 金	—	20	△ 20
特 別 損 失	110	841	△ 731
固定資産除却損	87	792	△ 705
投資有価証券売却損	12	0	11
投資有価証券評価損	—	0	△ 0
災 害 損 失	10	0	9
減 損 損 失	—	30	△ 30
解 約 違 約 金	—	17	△ 17
税引前当期純利益	1,782	1,842	△ 59
法人税、住民税及び事業税	640	695	△ 55
法人税等調整額	77	59	17
当 期 純 利 益	1,065	1,087	△ 22

Non-Consolidated Financial Statements

株主資本等変動計算書

当事業年度（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

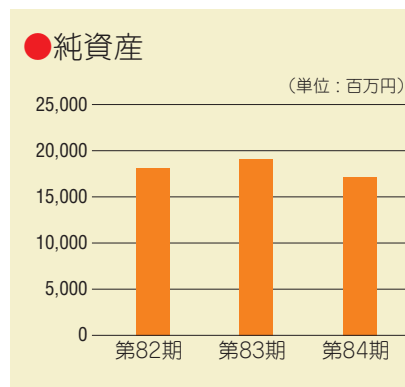
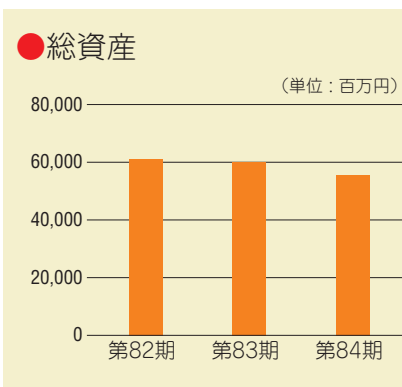
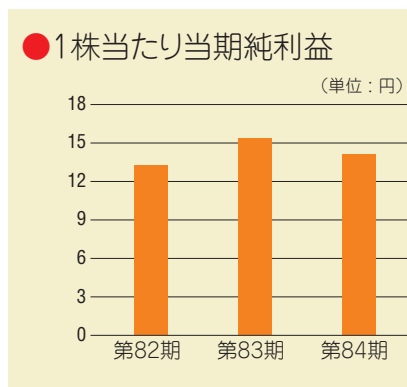
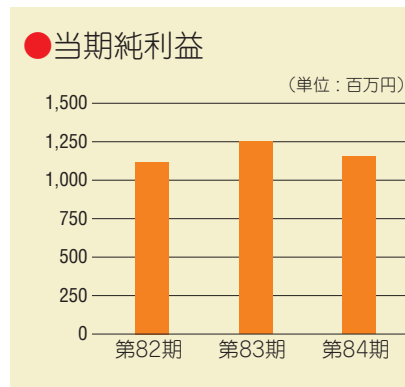
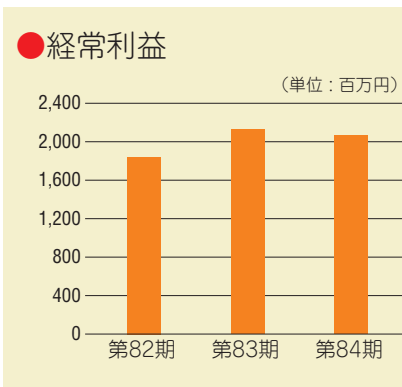
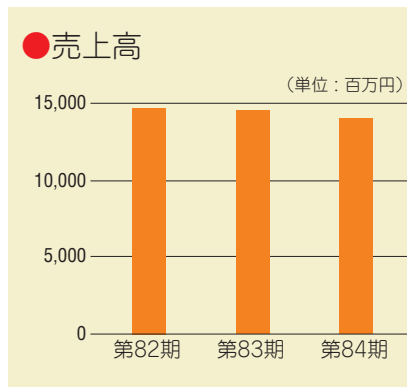
（単位：百万円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
平成19年3月31日残高	6,053	4,730	1	4,731	1,513	1,030	2,170	2,443	7,157
事業年度中の変動額									
剰余金の配当								△ 405	△ 405
別途積立金の積立							500	△ 500	—
当期純利益								1,065	1,065
自己株式の取得									
自己株式の処分			0	0					
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）									
事業年度中の変動額合計	—	—	0	0	—	—	500	159	659
平成20年3月31日残高	6,053	4,730	1	4,731	1,513	1,030	2,670	2,602	7,817

12

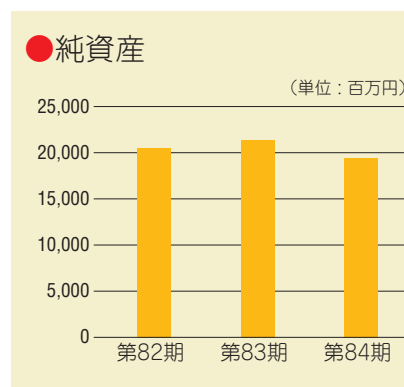
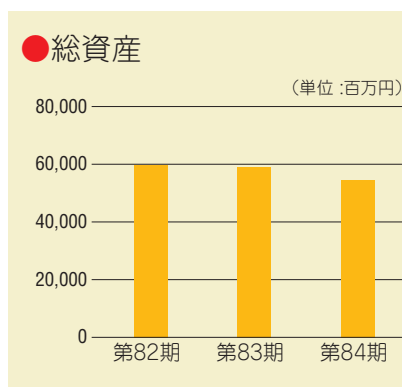
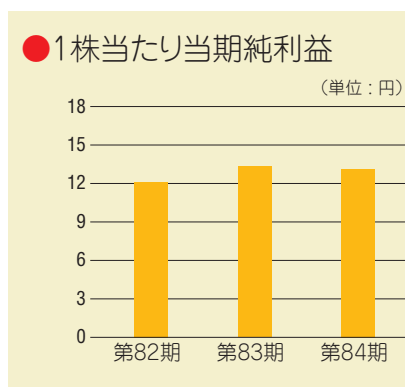
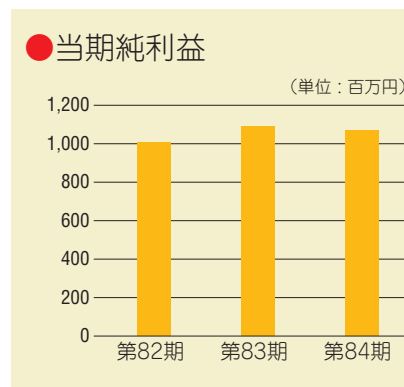
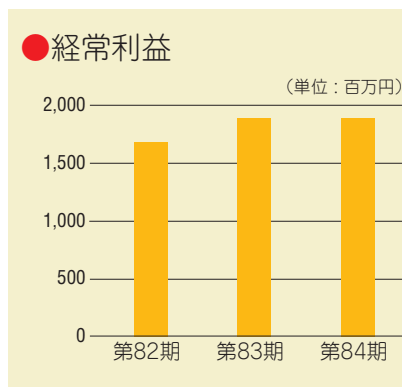
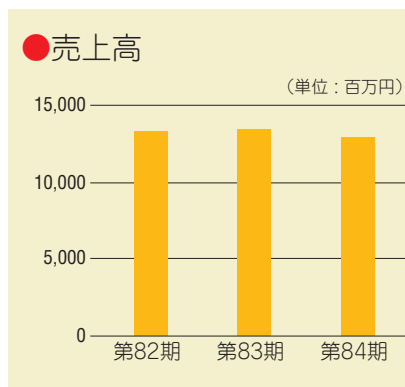
	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高	△ 959	16,982	4,332	4,332	21,314
事業年度中の変動額					
剰余金の配当		△ 405			△ 405
別途積立金の積立		—			—
当期純利益		1,065			1,065
自己株式の取得	△ 82	△ 82			△ 82
自己株式の処分	3	3			3
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）			△ 2,556	△ 2,556	△ 2,556
事業年度中の変動額合計	△ 79	580	△ 2,556	△ 2,556	△ 1,976
平成20年3月31日残高	△ 1,038	17,562	1,775	1,775	19,338

業績ハイライト[連結]



科 目	第82期	第83期	第84期
売上高 (百万円)	14,680	14,535	13,993
経常利益 (百万円)	1,844	2,129	2,062
当期純利益 (百万円)	1,114	1,248	1,148
1株当たり当期純利益 (円)	13.21	15.30	14.16
総資産 (百万円)	61,264	60,163	55,249
純資産 (百万円)	18,127	19,057	17,162

業績ハイライト[個別]



科 目	第82期	第83期	第84期
売上高 (百万円)	13,305	13,426	12,844
経常利益 (百万円)	1,682	1,888	1,887
当期純利益 (百万円)	1,005	1,087	1,065
1株当たり当期純利益 (円)	11.89	13.33	13.13
総資産 (百万円)	59,716	58,934	54,147
純資産 (百万円)	20,550	21,314	19,338

株主優待

当社では、権利確定日に株主名簿及び実質株主名簿に記載されている株主様を対象として、株主ご優待を実施しております。

権利確定日	3月31日(期末)	9月30日(中間)
発行時期	6月	12月
有効期間	7～12月	1～6月

●招待施設

よみうりランド株主招待券		株主入場パス
①遊園地他	1シート	②プールWAI 1シート
・入園	1枚	・入場券 5枚
・のりもの	3枚	※期末発行分のみ
・アシカショー	1枚	
・ゴンドラ	2枚	
		各場共通パス
		・川崎競馬場
		・船橋競馬場
		・船橋オートレース場

●発行基準

15

ご所有株数	よみうりランド株主招待券		株主入場パス
	①遊園地他	②プールWAI	
1,000株未満	—	—	1枚
1,000株以上	5シート	1シート	2枚
5,000株以上	10シート	2シート	3枚
10,000株以上	15シート	3シート	5枚
50,000株以上	20シート	4シート	5枚

※各招待券は休園日等ご利用いただけない日がございます。注意事項と合わせて詳細につきましては、同封の「株主招待券贈呈のご案内」をご参照ください。

●千葉よみうりカントリークラブ 開場30周年記念優待

平成20年3月末及び9月末の権利確定日に株主名簿及び実質株主名簿に記載されている株主様に限り、次の株主ご優待を実施しております。

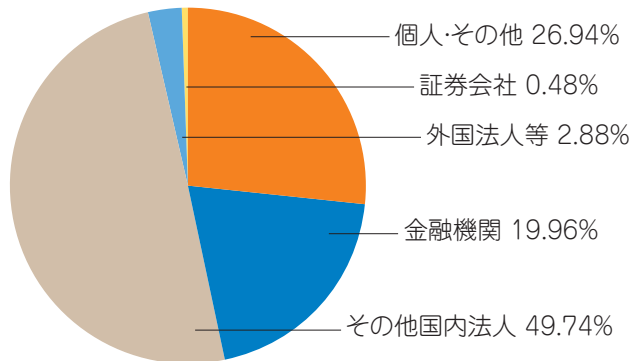
ご所有株数	千葉よみうりカントリークラブ ゴルフプレー ¥1,000割引券
1,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
10,000株以上	6枚
50,000株以上	8枚

※有効期間 平成20年3月末割当分：平成20年7月1日～平成20年9月30日
平成20年9月末割当分：平成21年1月1日～平成21年3月31日

株式の状況 (平成20年3月31日現在)

- 発行可能株式総数……………294,196,000株
- 発行済株式総数……………83,522,024株
- 当期末株主数……………8,355名

●所有者別株主比率



●大株主

株主名	持株数 (千株)
株式会社読売新聞グループ本社	12,508
日本テレビ放送網株式会社	11,242
株式会社東京ドーム	5,821
中央三井信託銀行株式会社	4,023
大成建設株式会社	2,852
第一生命保険相互会社	2,268
株式会社読売巨人軍	2,014
京王電鉄株式会社	1,700
株式会社横浜銀行	1,631
オリオンピア興業株式会社	1,278

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式2,523千株があります。

会社の概況

●会社の概要（平成20年3月31日現在）

商 号 株式会社よみうりランド（英文：YOMIURI LAND CO., LTD.）

本 店 所 在 地 東京都稲城市矢野口4015番地1

設 立 昭和24年9月24日

資 本 金 6,053,030,806円

企業集団の主要な事業内容 総合レジャー事業

賃 貸 部 門 競馬及びオートレースの競技場の賃貸

ゴ ル フ 部 門 ゴルフ場の経営

遊 園 地 部 門 遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設等の経営

販 売 部 門 食堂、売店の経営

不 動 産 事 業 不動産の売買、賃貸

建 設 事 業 建設業

17

●当社の従業員の状況（平成20年3月31日現在）

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
179名	3名	41歳4ヵ月	15年1ヵ月

●役員（平成20年6月25日現在）

代 表 取 締 役 会 長	中 保	章
代 表 取 締 役 社 長	関 根	達 雄
専 務 取 締 役	牧 田	清 司
常 務 取 締 役	番 井	晃
取 締 役	小 飯 塚	稔
取 締 役	土 方	功
取 締 役	正 力	亨
取 締 役	渡 邊	恒 雄
取 締 役	氏 家	齊 一 郎
取 締 役	加 藤	奂
監 査 役（常勤）	田 中	敏 樹
監 査 役	濱	邦 久
監 査 役	細 川	知 正
監 査 役	児 玉	幸 治

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社 本店
- 同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 電話0120-78-2031（フリーダイヤル）
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

（お知らせ）

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人・中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031（24時間受付：自動音声案内）
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html
- 公 告 の 方 法 電子公告により行います。なお、以下のホームページアドレスにてご覧いただけます。
<http://www.yomiuriland.co.jp/ir/index.html>
 ただし、事故その他、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する読売新聞に掲載して行います。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 株主優待権利確定日 3月31日、9月30日

株式会社 よみうりランド

この報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

●総務部 電話 044-966-1131

●ホームページ <http://www.yomiuriland.co.jp/>

